山梨県版標準様式「工賃向上計画」記入要領

**１　はじめに**

* エクセルファイル「工賃向上計画（事業所名）」に入力していきます。
* ファイルは３つのシートからなっており、それぞれに入力してください。

「事業所の概要」

「過去の実績・分析」

「今後の方針・計画」

* 新設の事業所は、開所前の年度の実績については空欄のままとしてください。
* 基本的に黄色いセルが入力を必要とする箇所です。
* ファイルを保存する際には、ファイル名の（事業所名）のところを貴事業所名に修正してください。
* 記載例を参考にしてください。

なお、記載例は書きぶりの例示であるため、３つのシートの間やシート内の各項目

はつながった関係になっていないところがありますので、ご了承ください。

* 「工賃を向上させるために事業所としてどう取り組んでいくのか」を具体的に示す計画です。これまでの実績を把握し、現状と課題を分析して対策を考え、今後の目標を立てて具体的な取り組みを計画するものです。

標準様式ですので、その趣旨に沿っていれば、各事業所において、項目や記載内容の変更をしても構いません。

**２　各項目への記載について**

●「事業所の概要」シート

　「１　事業所の概要」

* 法人名など、事業所の基本的な情報を入力してください。
* 平成30年4月1日現在の“利用者数”については、“利用者の障害種別”と“利用者の年齢”の各計と合うようにしてください。
* “事業所の特徴”は、これまでの経緯、現在の状況、取り組んでいること、売り出していること、など特徴的なことを記載してください。
* “事業所（法人）の経営理念”は、事業所（法人）として目指す方向性や姿勢などを記載してください。
* “製造している商品・提供しているサービス”については、事業部門を３つ挙げて、その事業の特徴まで記載してください。部門が４つ以上ある場合は、主な部門を３つ挙げて４番目以降を省略したり、３番目以降の部門を３番目の欄にまとめて「～～～等」や「～～～ほか」などと記載してもいいですし、行を挿入して４部門以上を記載するようにしても構いません。

●「過去の実績・分析」シート

　「２　平成２９年度の実績・分析」

* 平成29年度について、直近の実績として分析するため、部門ごとに売上高や利用者工賃などを記載していきます。

部門ごとに分けて記載することが難しい場合は“全部門”として一つにまとめることも可としますが、事業ごとに分析しての課題と対策を考察するためにも、なるべく分けて記載するようにしてください。

* 一方、４部門以上に分けて記載できる場合でも、主な事業２つを各部門として記載し、３事業目以降は“その他”部門としてまとめて記載します。（３部門の合計が下の「３　過去３年間の実績・分析」の平成29年度の欄に反映されるためです。
* “延利用者数・月数（b）”は、「１年間に何人に何月分の工賃を支払ったか、の総計」です。

例えば、毎月15人に12カ月間工賃を支払っていた場合、15人×12月＝180人・月となります。月ごとに人数が異なる場合は、すべて足し合わせて算出します。（例年の厚労省からの工賃実績調査の際の“対象者延人数（月額）”と同じ考え方です。）

* “総利用者数・時間数（c）”は、「１年間に何人に何時間分の工賃を支払ったか、の総計」です。

例えば、すべての利用者15人が毎日4時間、毎月20日、就労していれば、15人×12月×20日×4時間＝14,400人・時間となります。各々の利用者の年間利用時間数を算出し、それらをすべて足し合わせて事業所としての数値を出します。（こちらも例年の厚労省からの工賃実績調査の際の“対象者延人数（時間額）”と同じ考え方です。）

“総利用者数・時間数（c）”は、算出が難しい場合は省略可としますが、年度の比較・分析をするためには、なるべく記載することが望ましいと考えます。また、例えば、利用者に精神障害者が多く、継続利用が難しいため、平均工賃月額だと低く算出されてしまう場合などは、平均工賃時間額を算出した方が比較・分析に有効であると考えられます。

* “取組状況・成果”“課題”“対策”など文章を記載するセルが小さくて書ききれない場合は、行の幅を広げる、字を小さくする、“別添”と記載して別紙に記載する、など工夫して構いません。

　「３　過去３年間の実績・分析」

* 平成27年度と28年度については、事業所全体としての“年間売上高”や“支払工賃総額”などを記載し、“取り組んでいた事業やその状況など過去の分析”も全体として記載してください。
* ここでの平成29年度の欄は、上の「２　平成２９年度の実績・分析」を入力することで、その合計として自動的に入力されますので、記入不要です。

●「今後の方針・計画」シート

　「４　計画期間における取組方針」

* 平成30年～32年の3年間の計画期間において、このように取り組んでいく、こうすることでこういう目標を達成する、といった取り組みの方向性を記載してください。

　「５　平成３０年度の計画」

* 平成30年度における収入（売上）と支出の予算を部門ごとに組み立てます。
* ここで算出される平均工賃が“目標工賃”となります。
* 平成29年度の実績・分析を踏まえて、収支予算を達成するための目標を立て、その目標に向けての取組とスケジュールを記載します。

　「６　今後３年間の計画」

* 上表を入力することで、平成30年度については自動的に数値が反映されます。
* 平成31年度と32年度については、事業所全体としての“年間売上高”や“支払工賃総額”などを記載し、“年度における取組方針”も全体として記載してください。

**３　計画の実行に向けて（「記入要領」からは離れますが）**

* 今回提示した標準様式は、これまで工賃向上計画の作成まで及ばなかった事業所が多いため、まず作成して取り組んでもらうことを想定しています。
* 計画に実効性を持たせるには、現状の把握はもっと強みと弱みを認識したり、課題の分析はもっと掘り下げ、実際の取組はさらに細かく、いつまでに誰が何をどうするか、など、より具体的に捉える必要があります。
* 作成した計画は定期的にチェックし、必要に応じて修正します。「とりあえず計画は作っただけ」とならないようにしましょう。
* 計画の作成と実践が、各就労支援事業所における工賃向上の取組を実現する一助になることを期待します。